

昼光利用建物における照明計画に関する研究

担当部科

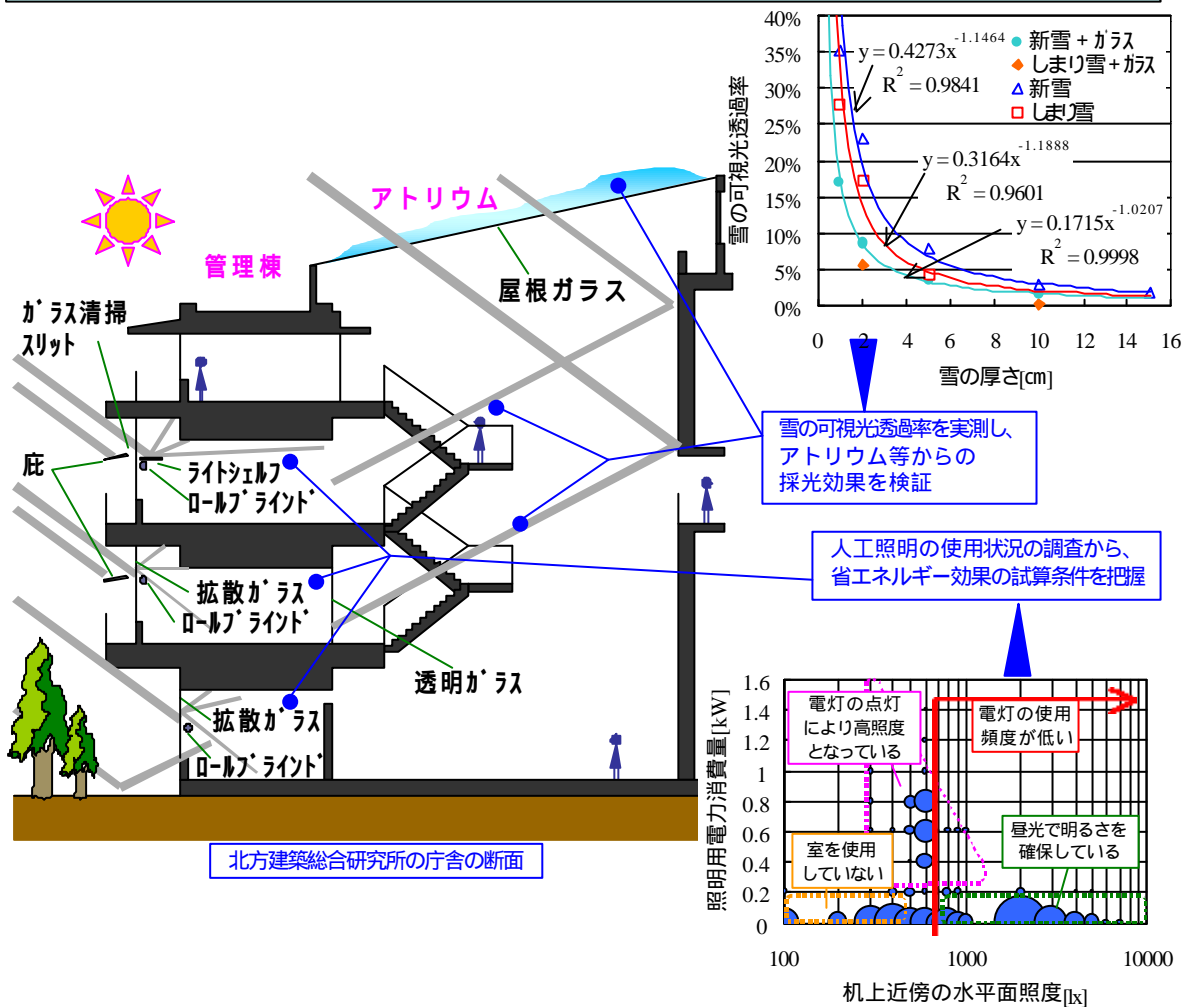
居住科学部人間科学科
環境科学部居住環境科

研究の目的

一般公共建築における昼光利用手法の普及を目指し、昼光利用の各設計各要素について基礎資料を得ることを目的としています。

研究の結果

- ・ 窓の方位、人工照明のスイッチの配置方法等の建物特性や室内の光の色温度、積雪面反射が照明負荷や光環境に及ぼす影響をシミュレーションや実験から検討しました。
- ・ 屋根ガラス上の積雪を想定し、雪の可視光透過率を実測により明らかとしました。
- ・ 昼光利用を行っている実建物（北方建築総合研究所庁舎）において、室内光環境、在室者による人工照明とブラインドの制御状態等の検証を行い、昼光利用建物の運用に関する基礎情報を得ました。



活用方法・成果

今後の設計ツールの作成に役立てていきます。また、個別物件の相談に応じ、技術の普及を図ります。